

2025/04/11 (予定) 機能追加

「奉行AIチャット」を搭載 他 47 件

Ver.250331

奉行AI

「奉行AIチャット」を搭載

当サービスに関する質問にAIが回答する「奉行AIチャット」を搭載しました。
すべてのメニューから「奉行AIチャット」を起動でき、疑問点をすぐに解決できます。



補足

「奉行クラウドBot」は、「奉行AIチャット」に統合されました。

商品管理

得意先ごとの商品の単価を複写し、新しい得意先の商品の単価に登録したい

得意先ごとの商品の単価を、異なる得意先の商品の単価に複写できるようになりました。

複数の得意先で同じ単価を入力する手間が省けます。

単価を複写するには、[単価]メニューの[単価 - 条件設定]画面の[基本]ページで「単価を複写する」にチェックを付けて複写元を指定します。

対応メニュー

[商品管理 - 価格 - 単価]メニュー

在庫締めせずに、在庫単価で単価を更新したい

蔵奉行

これまでの、在庫単価で単価（単位単価・仕入原価・在庫単価）を更新するには、在庫締めが必要でした。

これからは、在庫締めをしなくても、指定日時点の在庫単価で単価を更新できます。

これにより、任意のタイミングで単価を更新し、各伝票の入力時に初期表示される単価（単位原価・仕入原価・在庫単価）に、最新の金額を反映できるようになります。

単位原価・仕入原価は[単価]メニュー、在庫単価は『蔵奉行クラウド』の[在庫単価]メニューで更新します。

対応メニュー

[商品管理 - 価格 - 単価]メニュー

『蔵奉行クラウド』の以下のメニュー

[商品管理 - 在庫 - 在庫単価]メニュー

販売管理

与信額チェックで受注残高を加味したくない

債権奉行

『債権奉行 i クラウド』の『Bシステム』以上または『債権奉行V ERPクラウド』をご利用の場合に、[販売管理規程]メニューの[債権管理]ページで与信残高の計算式を設定できるようになりました。

計算式から受注残高を削除することで、受注残高を与信残高に加味せずにチェックできます。

対応メニュー

[法人情報 - 規程 - 販売管理規程]メニュー

与信額チェック対象の各伝票

伝票で初期表示する販売取引を、商品／得意先ごとではなく、取引の種類ごとに設定したい

売上伝票を区分する項目として、伝票のヘッダーに「販売処理区分」が追加されました。

以下の販売処理区分が初期登録されており、[販売処理区分]メニューで用途に応じて自由に追加・変更ができます。

001：掛売上

002：現金売上

003：クレジット

000：その他

販売処理区分ごとに、伝票に初期表示する販売取引や回収条件を設定できます。

商品／得意先で各項目が設定されていない場合は、伝票には販売処理区分の設定が初期表示されるので、商品／得意先によらない、基本設定として利用できます。

追加メニュー

[法人情報 - 規程 - 販売処理区分]メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から[汎用データ作成 - 法人情報 - 販売処理区分データ作成]メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から[汎用データ受入 - 法人情報 - 販売処理区分データ受入]メニュー

対応メニュー

〔販売管理 - 契約処理 - サブスクリプション〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔販売管理 - 契約処理 - 見積書〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

各明細表や一覧表など

得意先元帳で掛売上と現金売上それぞれの合計を確認したい

伝票入力時に、今回追加された「販売処理区分」を取引の種類ごとに使い分けて指定することで、得意先元帳の各計行（月計行・小計行・合計行）に掛売上・現金売上ごとの金額を表示できます。

対応メニュー

〔販売管理 - 管理帳票 - 得意先元帳〕メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

〔債権管理 - 請求処理 - 債権伝票〕メニュー

〔債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報〕メニュー

〔債権管理 - 入金処理 - 入金消込〕メニュー

〔債権管理 - 入金処理 - 入金伝票〕メニュー

〔債権管理 - 開始残高 - 債権残高〕メニュー

〔債権管理 - 開始残高 - 前受金残高〕メニュー

伝票の入力時に、前の明細行の倉庫を次の明細行にも表示したい

1 つ前の明細行の倉庫を、次の明細行の倉庫に初期表示できるようになりました。

同じ商品を複数の倉庫で管理していて、出荷する倉庫を取引に応じて指定する場合に、倉庫を入力する手間が省けて入力ミスも防げます。

前の明細行の倉庫を初期表示するには、各伝票の〔F5：操作設定〕の〔運用〕ページで、「前行倉庫表示」を「する」に設定します。

対応メニュー

〔商品管理 - 商品 - セット商品〕メニュー

〔販売管理 - 契約処理 - サブスクリプション〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

伝票の入力中に、バリエーション・荷姿区分の検索画面を自動で表示してほしい

Sシステム

奉行V ERP

伝票の入力中にバリエーション・荷姿区分欄にカーソルが入った際に、〔バリエーション検索〕・〔荷姿区分検索〕画面を自動で表示できるようになりました。

伝票上でバリエーション・荷姿区分を変更する際に毎回検索画面を表示する手間が省け、変更漏れも防げます。

バリエーション・荷姿区分の検索画面を自動で表示するには、各伝票の〔F5：操作説明〕の〔運用〕ページで、「バリエーション検索自動表示」・「荷姿区分検索自動表示」の「表示する」を選択します。

対応メニュー

〔商品管理 - 商品 - セット商品〕メニュー

〔販売管理 - 契約処理 - サブスクリプション〕メニュー

〔販売管理 - 契約処理 - 見積書〕メニュー

〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

請求締めを取り消さずに、売上伝票の原価やプロジェクトを修正したい

請求締め済みの売上伝票で、請求締めを取り消さずに修正できる項目が増えました。

これまでは摘要・商品名・備考だけでしたが、請求情報に影響のない項目の原価・部門・プロジェクトなども、修正でき

るようになりました。

請求締めを取り消さずに項目を修正するには、[販売管理規程] メニューの [債権管理] ページの「売上伝票の請求情報に影響のない項目だけ修正を許可する」にチェックを付けます。

なお、この設定の名称は、これまでは「売上伝票の摘要だけ修正を許可する」でしたが、今回の機能追加に伴い変更されています。

対応メニュー

[法人情報 - 規程 - 販売管理規程] メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上伝票] メニュー

伝票リストを伝票ごとに改ページして印刷したい

伝票をリスト形式で印刷する際に、1 ページに 1 伝票ずつ印刷できるようになりました。

また、1 ページに複数枚の伝票を印刷する場合に、ページをまたぐ伝票だけ改ページして印刷することもできます。

伝票の区切りがわかりやすくなることで、伝票リストを確認しやすくなります。

設定するには、各伝票メニューの [印刷条件設定] 画面の [出力] ページで、「伝票ごとに改ページする」や「1 伝票の印刷がページ内に収まらない場合に改ページする」にチェックを付けます。

対応メニュー

[販売管理 - 契約処理 - サブスクリプション] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[販売管理 - 契約処理 - 見積書] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[販売管理 - 受注処理 - 受注伝票] メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上伝票] メニュー

[債権管理 - 請求処理 - 債権伝票] メニュー

[債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報] メニュー

[債権管理 - 入金処理 - 入金伝票] メニュー

[債権管理 - 開始残高 - 債権残高] メニュー

[債権管理 - 開始残高 - 前受金残高] メニュー

即時入金（現金売上）を含めた売上と入金を一緒に確認したい

[売上債権残高一覧表] メニューで、伝票区分が「即時入金」の売上伝票を集計できるようになりました。

これにより、即時入金（現金売上）を含めた売上と債権残高を一緒に確認できます。

伝票区分が「即時入金」の売上伝票も集計する場合は、[条件設定] 画面の [詳細] ページで「税抜売上高／消費税額／税込売上高に即時入金の売上額も含める」にチェックを付けます。

対応メニュー

[販売管理 - 管理帳票 - 売上債権残高一覧表] メニュー

売上債権合計に含める回収種別を選択可能

[売上債権残高一覧表] メニュー・[債権残高一覧表] メニューの「売上債権合計」について、電子記録債権残高・手形残高・クレジット残高を含めるかを選択できるようになりました。

[条件設定] 画面の [出力] ページで、出力項目として「売上債権合計」を選択している場合に、[詳細] ページで設定できます。

『債権奉行 i クラウド』の『Sシステム』または『債権奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、ファクタリング残高・期日現金残高についても選択できます。

対応メニュー

[販売管理 - 管理帳票 - 売上債権残高一覧表] メニュー

[債権管理 - 管理帳票 - 債権残高一覧表] メニュー

売上債権残高一覧表で、振込・電子記録債権・ファクタリング・手形ごとの手数料を確認したい

[売上債権残高一覧表] ・ [入金一覧表] ・ [入金集計表] メニューで、手数料の種類ごとの金額を確認できるようになりました。

- 出力項目に追加した、「振込手数料」「発生記録手数料」「郵送料」「クレジット手数料」項目で確認できます。
『債権奉行 i クラウド』の『Sシステム』または『債権奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、「ファクタリング手数料」項目も追加しています。
項目は、[条件設定] 画面の [出力] ページで追加します。
- 「手数料計」項目に含める手数料の種類を設定することもできます。
[条件設定] 画面の [出力] ページで「手数料計」を選択し、[詳細] ページの「手数料計」で設定します。

これに伴い、項目名も見直しをしています。変更内容は以下の通りです。

メニュー名	今回より前	今回から	変更内容
売上債権残高一覧表	振込手数料	手数料計	項目名を変更しました
	-	振込手数料 発生記録手数料 ファクタリング手数料 郵送料 クレジット手数料	項目を追加しました
入金一覧表	手数料合計 手数料負担	手数料計	項目名を変更しました
	-	振込手数料 発生記録手数料 ファクタリング手数料 郵送料 クレジット手数料	項目を追加しました
入金集計表	手数料合計	手数料計	項目名を変更しました
	-	振込手数料 発生記録手数料 ファクタリング手数料 郵送料 クレジット手数料	項目を追加しました

対応メニュー

[販売管理 - 管理帳票 - 売上債権残高一覧表] メニュー

[債権管理 - 管理帳票 - 入金一覧表] メニュー

[債権管理 - 管理帳票 - 入金集計表] メニュー

複数ページの証憑で、指定したページを表示したい

👉をクリックしてページを移動する方法に加え、ページ番号を直接入力して、指定したページを表示できるようになりました。



対応メニュー

処理日時に入力した年月日や時刻の情報を、一括でクリアしたい

伝票検索時に入力した処理日時（年月日、日時）を、一括でクリアできるようになりました。
処理日時の入力欄にカーソルを入れて「×」をクリックすると、クリアされます。



対応メニュー

伝票を検索できるすべてのメニュー

債権管理

請求締め時に調整した消費税額を回収予定額に自動で反映したい

請求締め時に消費税計算が「請求書単位」の請求先の消費税額を調整すると、これまでは調整した金額を回収予定額にも手動で反映する必要がありましたが、自動で反映されるようになりました。

対応メニュー

〔債権管理 - 請求処理 - 請求締め〕メニュー

取消対象の請求期間以降の請求締めにまとめて取り消したい

これまでは、6月まで請求締めをした後で 4月の請求締めを取り消す場合は 6月・5月・4月の順に請求締めを取り消す必要がありましたが、4月を指定するだけで 5月・6月の請求締めも同時に取り消しできるようになりました。

対応メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上傳票〕メニュー

〔債権管理 - 請求処理 - 請求締め〕メニュー

前回御請求額が 0 で請求期間内に売上・入金明細がなくとも請求書を発行したい

〔請求締め - 条件設定〕画面の〔詳細〕ページの「前回御請求額が 0 で請求期間内に売上・入金明細がない請求書」で「発行する」を選択して請求締めをすると、〔請求書〕メニューで請求書を発行できるようになりました。

対応メニュー

〔債権管理 - 請求処理 - 請求締め〕メニュー

〔請求書〕画面の表示順で請求書を発行したい

これまでは〔請求書〕画面の表示順から請求書フォームコード順に並び替えて印刷されていましたが、〔請求書〕画面の表示順で印刷できるようになりました。

〔請求書 - 条件設定〕画面の〔出力順〕ページで「指定した出力順で発行する」にチェックを付けます。

対応メニュー

〔債権管理 - 請求処理 - 請求書〕メニュー

請求書に同日の売上傳票・入金伝票がある場合は、売上傳票、入金伝票の順で表示したい

〔請求書 - 条件設定〕画面の〔出力順〕ページで、売上/入金伝票の「伝票種類順」を選択した後、をクリックして「伝票日付順」の下に移動します。

対応メニュー

〔債権管理 - 請求処理 - 請求書〕メニュー

回収種別に「クレジット」を追加

〔回収方法〕メニューの回収種別で「クレジット」を選択できるようになり、クレジットカード決済の売上や入金を管理できるようになりました。

また、〔得意先〕メニューの種別に「クレジット会社」が追加されました。
クレジット会社を登録することで、以下が可能です。

- 管理帳票でクレジット会社ごとの入金予定を集計
- クレジット会社の債権として仕訳を作成
- クレジット会社への宛名ラベルや送り状の印刷

対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 回収方法〕メニュー
〔取引先管理 - 得意先 - 得意先〕メニュー
〔販売管理 - 売上処理 - 売上傳票〕メニュー
〔販売管理 - 管理帳票 - 売上債権残高一覧表〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金消込〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金伝票〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 回収予定表〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 債権残高一覧表〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 入金一覧表〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 入金集計表〕メニュー

回収種別に「電子記録債権」を追加

〔回収方法〕メニューの回収種別で「電子記録債権」を選択できるようになり、電子記録債権の入金も計上できるようになりました。

また、一部の管理帳票に出力項目が追加され、電子記録債権の金額や残高を集計できます。

対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 回収方法〕メニュー
〔販売管理 - 管理帳票 - 売上債権残高一覧表〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金消込〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金伝票〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 回収予定表〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 債権残高一覧表〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 入金一覧表〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 入金集計表〕メニュー

回収種別が「値引・調整」の場合も、入金部門などを入力可能

回収種別が「値引・調整」の場合も、入金伝票で入金部門・担当者・プロジェクト・セグメント（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）を入力できるようになりました。

入金部門を入力しておく、入金集計表を入金部門別で集計した際に「値引・調整」の金額も同じ集計軸で確認できます。

部門権限をお使いの場合は、この機能追加によって、以下の影響があります。

- 「その他」部門に権限がある場合は、これまで参照できなかった伝票を参照できることがあります。
- 「その他」部門に権限がない場合は、これまで修正できていた伝票を修正できなくなることがあります。

対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 回収方法〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金伝票〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報〕メニュー
〔債権管理 - 入金処理 - 入金消込〕メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 入金一覧表〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 入金集計表〕メニュー

非連結の入金消込で、入金額（非連結処理額）＞債権額（消込額）でも、消費税違算や入金調整額、値引額で処理可能

非連結で計上した入金を入金消込する際に、入金額（非連結処理額）＞債権額（消込額）でも、消費税違算や入金調整額、値引額にマイナスの金額を入力して処理できるようになりました。
前受金の入金消込でも同様に対応しました。

対応メニュー

〔債権管理 - 入金処理 - 入金消込〕メニュー

請求一覧表を請求書発行順で出力したい

発行した請求書と請求一覧表を突き合わせてチェックする際に、同じ並び順で出力できるようになりました。

〔請求一覧表 - 条件設定〕画面の〔出力〕ページの出力順で「発行処理日時順」を選択した後、をクリックして一番上に移動します。

また、出力項目に「発行O B C i D」「発行処理日時」が追加され、請求書発行時の情報もあわせて確認できるようになりました。

対応メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 請求一覧表〕メニュー

回収予定表をファクタリング会社別に集計可能

債権奉行

『債権奉行 i クラウド』の『Sシステム』、または『債権奉行V ERPクラウド』をご利用の場合に、〔回収予定表〕メニューの集計軸項目に「ファクタリング会社」が追加され、ファクタリング会社別に集計できるようになりました。

また、〔得意先元帳〕メニューでは、ファクタリングでの回収にファクタリング会社が表示されるようになりました。

対応メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 回収予定表〕メニュー
〔販売管理 - 管理帳票 - 得意先元帳〕メニュー

入金一覧表・入金集計表で、入金額と手数料の合計額を確認したい

〔入金一覧表〕メニュー・〔入金集計表〕メニューの出力項目に、「入金額＋手数料計」を追加しました。
入金額と手数料の合計額を確認できます。
項目は、〔条件設定〕画面の〔出力〕ページで追加します。

対応メニュー

〔債権管理 - 管理帳票 - 入金一覧表〕メニュー
〔債権管理 - 管理帳票 - 入金集計表〕メニュー

回収種別の追加に伴い、手数料の項目名や設定名を変更

手数料を計上できる回収種別「電子記録債権」・「クレジット」が追加されたことに伴い、手数料の項目や設定の名称を見直しました。

- ・〔売上伝票〕・〔入金情報〕・〔入金消込〕メニュー
「手数料」・「振込手数料」項目などの名称を「手数料等」に変更しました。
- ・〔入金伝票〕メニュー
控除明細の種別で、「手数料負担」の名称を「手数料」に変更しました。
- ・〔請求締め〕・〔請求書〕メニュー
〔条件設定〕画面の〔基本〕ページにある「振込手数料／手形郵送料」設定の名称を、「手数料等」に変更しました。

対応メニュー

メインメニュー右上の（セキュリティ）から［利用者権限］メニュー

- ［販売管理 - 売上処理 - 売上伝票］メニュー
- ［債権管理 - 請求処理 - 債権伝票］メニュー
- ［債権管理 - 請求処理 - 請求締め］メニュー
- ［債権管理 - 請求処理 - 請求書］メニュー
- ［債権管理 - 入金処理 - 入金情報 - 入金情報］メニュー
- ［債権管理 - 入金処理 - 入金消込］メニュー
- ［債権管理 - 入金処理 - 入金伝票］メニュー

消込状況・回収状況・承認状況・帳票配信状況の配色を変更

消込状況・回収状況・承認状況の、以下のアイコンの配色を変更しました。

帳票配信状況は、『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』をご利用の場合に確認できます。

- 消込状況・回収状況（［債権伝票］・［債権明細表］・［得意先元帳］メニューなど）
未入金・一部入金・入金済・回収済

例

以下のように配色が変更されます。

変更前	変更後
	
	
	

- 承認状況（伝票の申請・承認画面）
未承認・承認中・承認済
- 帳票配信状況（［帳票配信］メニュー）
未送信・送信中・送信済・未公開・公開準備中・公開済・未DL・DL済
『郵送代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』をご利用の場合は、以下も変更されます。
未郵送・発送準備中・発送済

対応メニュー

ダッシュボード「帳票配信状況」カード（『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』をご利用の場合）

- ［販売管理 - 管理帳票 - 得意先元帳］メニュー
- ［債権管理 - 請求処理 - 債権伝票］メニュー
- ［債権管理 - 請求処理 - 債権明細表］メニュー
- ［債権管理 - 開始残高 - 債権残高］メニュー

請求書の内容をファイルに転送したい

請求書の内容をファイルに転送できるようになりました。

転送したファイルは、請求書の発行を代行するサービスなどに利用できます。

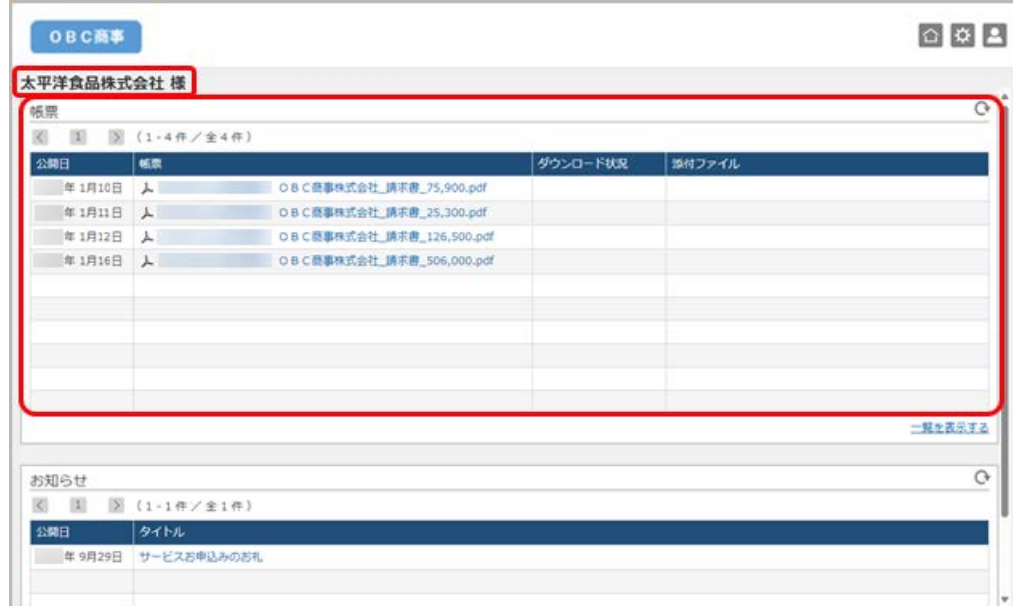
対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から［汎用データ作成 - 債権管理 - 請求書データ作成］メニュー

発行請求書DXクラウド

発行請求書DX

帳票をWeb公開する画面（得意先マイページ）に得意先（取引先様）の名称を表示して、帳票の件数を増やしたい



- 得意先（取引先様）の名称を表示するようになりました。
- 帳票の表示を以下のように変更しました。
 - 「3 件」から「10 件」に拡張しました。
 - 公開日に関わらず、ダウンロードしていない帳票が初期表示されるようになりました。
 - 公開日を帳票ごとに表示するようになりました。
 - 「ダウンロード日時」を「ダウンロード状況」に変更しました。

ダッシュボード名を変更

ダッシュボード名を「配信状況」から「帳票配信状況」に変更し、デザインを変更しました。

帳票と一緒に配信するファイルを自動で添付したい

これまでは「帳票配信」画面で配信先ごとにファイルを手動で添付する必要がありましたが、自動で添付できるようになりました。

添付するファイルのファイル名に、ファイル名と紐づけるコード（配信先コードまたは帳票の宛先コード）を含めます。
 「帳票配信 - 条件設定」画面の「項目選択」ページでファイルの保存先フォルダーを指定し、ファイル名と紐づけるコードを選択して「画面」ボタンをクリックすると、添付ファイルとして自動で添付されます。

対応メニュー

ダッシュボード「帳票配信状況」カード

「帳票配信」画面に配信先だけでなく得意先・請求宛先の情報も出力したい

配信先を変更しており、帳票の得意先・請求宛先の情報も確認したい場合は、「項目選択」ページで得意先・請求宛先のコード・名称・事業所名・略称を選択済項目に追加します。

- これまでの項目名「得意先〇〇」は「配信先〇〇」に変更しました。
- 帳票の得意先・請求先でも検索できるように、検索項目に「得意先コード」「請求宛先コード」を追加しました。
- 「配信設定」画面の【メール件名／本文】の差込項目の名称について、「得意先〇〇」から「配信先〇〇」に変更しました。

対応メニュー

ダッシュボード「帳票配信状況」カード

見積書・納品書も郵送代行したい

当サービスから発行した見積書・納品書も郵送代行できるようになりました。

郵送代行

対応メニュー

ダッシュボード「帳票配信状況」カード

〔販売管理 - 契約処理 - 見積書〕メニュー

〔販売管理 - 受注処理 - 受注伝票〕メニュー

〔販売管理 - 売上処理 - 売上伝票〕メニュー

帳票を郵送代行する際にお知らせなどを一緒に封入したい

郵送代行

帳票と一緒にお知らせなどを封入できるようになりました。

帳票と一緒に封入したいお知らせなどをA4縦のPDFで用意して、〔帳票配信〕画面で添付ファイルに設定します。

対応メニュー

ダッシュボード「帳票配信状況」カード

奉行連携

即時入金（現金売上）の売上科目・入金科目の初期値を設定したい

〔得意先〕メニュー・〔商品〕メニューに項目が追加され、伝票区分が「即時入金」の場合の販売取引・回収方法を設定できるようになりました。

伝票区分が「即時入金」の伝票には、ここで設定した販売取引の売上科目、回収方法の入金科目が初期表示されます。

追加された項目を表示する場合は、各メニューの〔F10：設定〕で、「即時入金の販売取引／回収方法」を「表示する」に設定します。

メニュー	ページ	追加項目
〔得意先〕メニュー	〔販売〕ページ	- 主販売取引（即時入金） - 主販売取引－返品（即時入金） - 主販売取引－値引（即時入金） - 即時入金－回収方法 『債権奉行クラウド』をご利用の場合 - 主販売取引（即時入金－営業債権） - 主販売取引－返品（即時入金－営業債権） - 主販売取引－値引（即時入金－営業債権） - 回収方法（即時入金－営業債権） - 主販売取引（即時入金－営業外債権） - 主販売取引－返品（即時入金－営業外債権） - 主販売取引－値引（即時入金－営業外債権） - 回収方法（即時入金－営業外債権）
〔商品〕メニュー	〔販売〕ページ	- 主販売取引（即時入金） - 主販売取引－返品（即時入金） - 主販売取引－値引（即時入金）
	〔仕入〕ページ 『蔵奉行クラウド』 をご利用の場合	- 主仕入取引（即時支払） - 主仕入取引－返品（即時支払） - 主仕入取引－値引（即時支払）

対応メニュー

〔取引先管理 - 得意先 - 得意先〕メニュー

〔商品管理 - 商品 - 商品〕メニュー

〔販売管理 - 契約処理 - サブスクリプション〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[販売管理 - 契約処理 - 見積書] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[販売管理 - 受注処理 - 受注伝票] メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上伝票] メニュー

[債権管理 - 請求処理 - 債権伝票] メニュー

[債権管理 - 入金処理 - 入金伝票] メニュー

即時入金（現金売上）の入金科目に、売上科目の補助科目をセットしたい

- ・ [回収方法] メニューに項目が追加され、入金科目の補助科目の指定方法を選択できるようになりました。アップデート後は、「0：固定」が設定されており、今までどおり動作します。
入金科目に売上科目の補助科目をセットする場合は、補助科目指定を「2：売上」に設定します。

追加項目	選択肢
補助科目指定	・ 0：固定 特定の補助科目を固定でセットします。 ・ 1：債権 ・ 即時入金の売上の場合 回収方法の補助科目をセットします。 ・ 債権回収の入金の場合 1 行目の債権明細の債権科目の補助科目をセットします。 債権科目の補助科目がない場合は、回収方法の補助科目をセットします。 ・ 2：売上 1 行目の債権明細の売上科目の補助科目をセットします。 売上科目に補助科目がない場合は、回収方法の補助科目をセットします。 ・ 9：マスター 商品／得意先の補助科目優先コードをセットします。 補助科目優先コードがない場合は、回収方法の補助科目をセットします。

- ・ あわせて、[販売取引] メニューにも項目が追加され、債権科目の補助科目の指定方法を選択できるようになりました。アップデート後は、「9：マスター」が設定されており、今までどおり動作します。

追加項目	選択肢
補助科目指定	・ 0：固定 特定の補助科目を固定でセットします。 ・ 1：売上 売上科目の補助科目をセットします。 売上科目の補助科目がない場合は、販売取引の債権科目の補助科目をセットします。 ・ 9：マスター 商品／得意先の補助科目優先コードをセットします。 補助科目優先コードがない場合は、販売取引の債権科目の補助科目をセットします。

対応メニュー

[法人情報 - 規程 - 回収方法] メニュー

[法人情報 - 規程 - 販売取引] メニュー

[販売管理 - 売上処理 - 売上伝票] メニュー

[債権管理 - 請求処理 - 債権伝票] メニュー

[債権管理 - 入金処理 - 入金消込] メニュー

[債権管理 - 入金処理 - 入金伝票] メニュー

『奉行クラウド』のサービスごとに管理している取引先（得意先／仕入先）を一元管理したい

奉行V ERP

『勘定奉行V ERPクラウド』・『債権奉行V ERPクラウド』・『債務奉行V ERPクラウド』などの取引先（得意先／仕入先）を統合して一元管理できます。取引先の更新内容が他のサービスにも反映されます。

統合マスター（統合取引先）が設けられ、サービスごとの取引先と関連付けられるため、日々の入力は今までどおりサー

ビス側で処理できます。
また、外部サービスも統合マスターとして管理できるようになります。

補足

統合マスター管理は『奉行クラウド』の共通データです。統合する『奉行クラウド』のサービスの、いずれか 1 つのサービスで設定してください。

追加メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から［取引先 - 統合取引先］メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から［取引先 - 外部マスター管理[取引先]］メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から［統合マスター設定］メニュー

なお、［統合マスター管理］メニューの追加に伴い、以下のメニューにあった機能が変更されます。

変更前	変更後
メインメニュー右上の  （設定）から［運用設定］メニューの［奉行連携］ページ	メインメニュー右上の  （統合マスター管理）から［統合マスター設定］メニュー
［法人情報 - 取引先 - 関連付け[取引先]］メニュー	メインメニュー右上の  （統合マスター管理）から［取引先 - 統合取引先］メニュー

その他

『kintone』との連携に対応

当サービスで登録した売上明細を、『kintone』に連携できるようになりました。

日々の売上金額が確定したタイミングで『kintone』に連携することで、現場営業が『kintone』の「商奉行クラウド_売上実績」アプリで売上実績を確認できます。

詳細は、以下の弊社ホームページをご参照ください。

[奉行クラウド kintone 連携用ツール - ユーザー向けページ](#)

追加メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から［kintone連携 - 売上実績データ連携］メニュー

汎用データを利用した、受注伝票から出荷伝票への一括でのリレーに対応

蔵奉行

［受注伝票データ作成］メニューで、受注残がある受注伝票を「O B C 受入形式」の出荷伝票の形式で作成できるようになりました。

作成したデータを［出荷伝票データ受入］メニューでそのまま受け入れると、受注伝票を一括で出荷伝票にリレーできます。

対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から［汎用データ作成 - 販売管理 - 受注伝票データ作成］メニュー

売上明細が税抜・税込に関わらず伝票請求書に税込の売上傳票計を印字したい

売上明細を税抜・税込のどちらで入力している場合でも、伝票請求書に税込の売上傳票計を印字できる項目「税込売上傳票計」が追加されました。

これまでの「税込売上傳票計」は「売上傳票計」に名称を変更しました。

対応メニュー

メインメニュー右上の（設定）から［オリジナルフォーム - 請求書フォーム］メニュー

すべてのメニューのダイアログにアクセスキーを搭載

キーボード操作で処理が実行できるアクセスキーを、すべてのメニューのダイアログに搭載しました。

キーボードの [Alt] キーを押すと、コマンドにアクセスキーが表示されます。

[Tab] キーよりも少ない操作でカーソルを移動できたり、キーボード操作だけで、項目の選択や付箋の色の切り替えができるようになります。

例

「仕訳伝票入力 - 検索条件設定」画面で [Alt] キーを押すと、[2] キー→[4] キーの計 2 回で、部門を指定するコード欄までカーソルを移動できます。



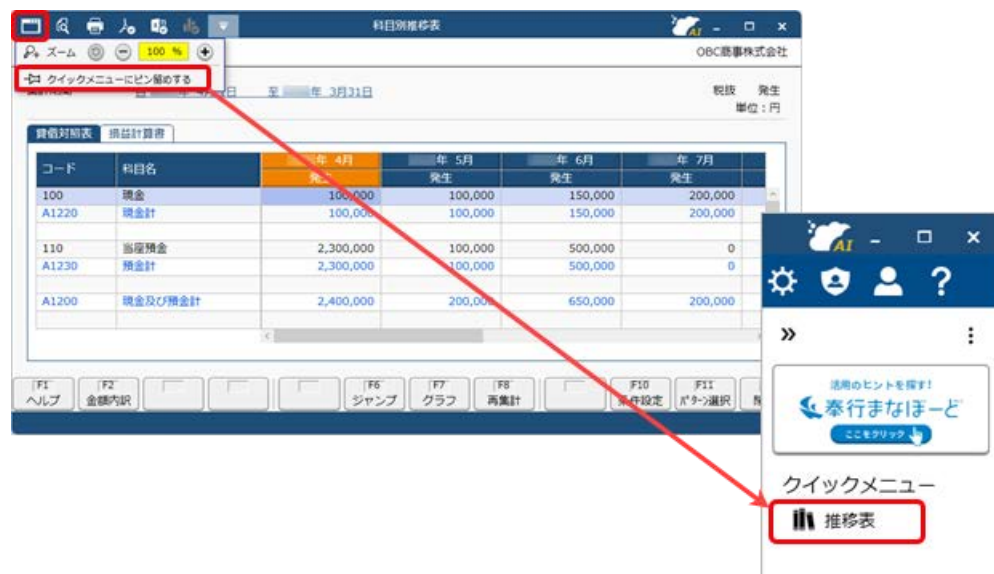
(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

対応メニュー

すべてのメニュー

表示したメニューをその場でクイックメニューにピン留めしたい

表示した画面左上の  (ウィンドウ設定) から「クイックメニューにピン留めする」をクリックすると、簡単にクイックメニューにピン留めできます。



(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

詳細は、目的から探す「[クイックメニューの使い方](#)」をご参照ください。

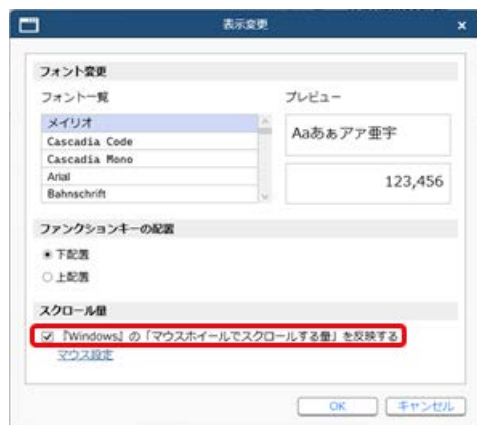
なお、ズーム機能も、画面左上の  (ウィンドウ設定) の中に移動しました。

対応メニュー

すべてのメニュー

Windowsの「マウスホイールでスクロールする量」の設定を『奉行クラウド』に反映させてほしい

Windowsの「マウスホイールでスクロールする量」の設定を反映できるようになりました。
利用者ごとに、設定できます。



対応メニュー

すべてのメニュー

メインメニュー右上の  (個人設定) から「表示」メニュー

【0】キー → 【Enter】キーで『奉行クラウド』を終了したい

メインメニューで【0】キー → 【Enter】キーを押すと、『奉行クラウド』を終了できるようになりました。



対応メニュー

メインメニュー

自動連携で伝票の汎用データ出力する際に、出力ファイル上書き設定が「上書きしない」の場合のファイル名を変更

奉行V ERP

連携ファイルの出力ファイル上書き設定で「上書きしない」が選択されている場合のファイル名を変更しました。
ファイル名に、「日時分秒」に加えて「年月」の情報も付加されます。

例

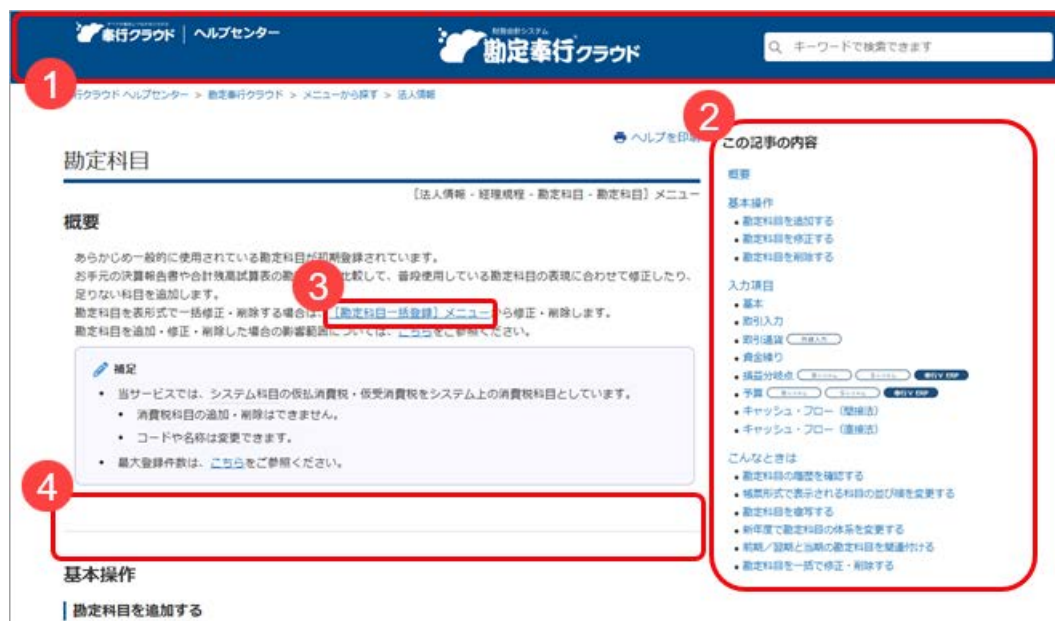
- 連携ファイルの伝票 出力ファイル名が「伝票データ」
- 「2025年 6月10日20時30分40秒」にファイルが出力された場合

変更前	変更後
伝票データ10203040.csv	伝票データ_250610_203040.csv

対応メニュー

メインメニュー右上の  (データメンテナンス) から「自動連携」メニュー

ヘルプセンターのデザイン変更



(画面は、『勘定奉行クラウド』の記事です。)

1. ヘッダー（背景が紺色の部分）の領域を細くして、その分、記事の領域を広くしました。
上記に伴い、ヘルプセンター内の記事を検索する検索窓を、画面中央から右側へ移動しました。
2. 記事の上部に表示していた「トピック」を、記事の右側の「この記事の内容」に表示するようにしました。
記事を下にスクロールしても、記事の右側に「この記事の内容」が表示され続けます。
3. リンク部分に、常に下線を表示するようにしました。
4. 一番大きい見出しの上に、灰色の区切り線を表示するようにしました。
併せて、余白も入れることで、見出しごとの区切りにメリハリをつけました。

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。